

LOCAL INITIATIVES TRANSFORM JAPAN



The Supporters Times

サポーターズタイムズ



前衆議院議員 秋葉賢也 政策・活動レポート

救急医療の充実と医療機関への支援強化について

仙台市では年末から年始にかけて、救急車の到着後もすぐに受け入れ先が決まらない「救急搬送困難事案」が急激に増加し、12月30日から1月5日までの1週間で213件、1月6日から12日までは236件で過去最多となりました。インフルエンザ等の流行や雪で転倒したことによる救急搬送要請が増えたことなどが原因とみられています。

総務省消防庁によれば、一昨年、救急車が119番通報を受けてから現場に到着するまでの時間は、全国平均10分で過去二番目の長さとなり、出動件数も763万8558件で過去最多を更新しました。全体の61.6%を65歳以上の高齢者が占めていますが、医療機関に引き継ぐまでの平均時間は、約45分でした。

「救急搬送困難事案」を減少させるためには、医療機関に引き継ぐまでの時間の短縮がカギとなります。事前の受け入れ調整の強化、遠隔医療の活用、専用の救急医療チームの増強、ICTによる患者情報のリアルタイム共有、地域ごとの医療ネットワーク強化、救急車の数や対応能力の強化が不可欠です。

一方で、昨年、倒産や休廃業した医療機関は過去最多の786件に達しており、診療所が618件で最も多く全体の7割を占め、歯科医院が145件、病院23件でした。長年、私のかかりつけ医であった八乙女クリニックも昨年末に廃業を余儀なくされ、まさかと本当にショックを受けました。医療業界の深刻な現状を浮き彫りにしています。

こうした現況は、医療機関が直面している経営難、特にコロナ禍や診療報酬の低さ、医師や看護師の人手不足、そして高齢化社会の進展による需要の変動など、複合的な要因が絡み合っていることを示しています。これらの問題が解決されない限り、医療機関の経営はますます厳しくなり、地域医療の崩壊を招く恐れがあります。

まず、医療機関の経営改善には、診療報酬の引き上げや運営コスト削減に向けた支援が必要です。特に、診療報酬が物価上昇や医療従事者の賃金上昇に追いついていないことが、経営を圧迫している要因です。政府は、診療報酬の適正化や、地域に根差した医療機関への支援強化を進めるべきです。

その上で医師や看護師などの医療従事者の確保と待遇改善も重要な課題です。人手不足が深刻化している中で、医療従事者の負担軽減やさらに働きやすい環境づくりが急務です。また、若年層の医療従事者を増やすための教育支援や、地域医療を担う意欲的な医療従事者の育成も必要です。

今まさに医療機関の倒産・休廃業を防ぎ、地域医療の持続可能性を確保することが求められています。私も厚生労働副大臣の経験者として、政府や与党に力強く働きかけ、世界に冠たる国民皆保険制度の拡充を実現して参ります。

秋葉賢也

確かな実現力! 秋葉賢也は走り続けます!!

www.akiba21.net

【ジェネリック不足への対応

医薬品医療機器法(薬機法)を改正】

少量多品目生産となっている後発医薬品企業に対して、厚労省は生産ラインや人件費の補助金をすでに実施していますが、今国会では薬機法を改正して新たな基金を創設するなど、医薬品の安定供給を目指します。

【障害者の結婚・育児支援

差別根絶へ行動計画】

政府は障害者への差別や偏見を根絶するための行動計画を決定しました。旧優生保護法を憲法違反とした最高裁判決を受け、「すべての国民が障害の有無によって分け隔てられることのない社会の実現に全力を尽くす」と強調。具体策として、自治体の支援策の周知、リーフレットの作成、障害当事者を講師とする研修の実施など、国民全体に向けた相互理解促進のための広報活動を行います。

【美容医療 後遺症・トラブル相談急増】

秋葉前代議士は衆議院消費者問題特別委員長として安全対策強化に注力して参りましたが、近年、美容医療の合併症や後遺症に悩むケースが急増。国民生活センターなどへの相談件数 2023 年度は 5,607 件、5 年前の 3 倍に増加しています。

相談窓口：仙台市消費生活センター

TEL022-268-7867

い や や い や や
消費者ホットライン 188 局番なし

日本全国のお近くの消費生活相談窓口をご案内します。

タウンミーティング(国政報告会)

2月21日(金)18:00~若林区

南材コミュニティセンター

2月22日(金)18:00~泉区

泉ヶ丘コミュニティセンター

“朗報”【ALSの新治療薬 厚労省承認】

厚労省は米バイオジェンが開発した筋萎縮性側索硬化症(ALS)の新たな治療薬「トフェルセン」を承認しました。ALS は運動神経が変性する難病で、変異をおこした SOD1の遺伝子がつくるタンパク質は運動障害を引き起こすと報告されています。トフェルセンはこのタンパク質を作り出さないように作用し、症状の進行を抑えることを目指して開発されました。こうした作用を持つ治療薬の承認は ALS では国内初となります。

【口内の不健康で要介護のリスク高まる】

かみ砕く力が低下していたり、歯の数が少なかったりするなど口内が不健康なほど、要介護認定や死亡リスクが高まるとの調査結果を島根大などの研究チームが発表しました。チームは後期高齢者の口内検査データを分析、かむ力や歯の数など13項目を調べたうえでその後の要介護認定や死亡の状況を確認しました。

※島根大などの研究チームによる調査

要介護認定や死亡リスクと関連が強かった口内の状態	
要介護2以上に認定	
1位	かみ砕く力が低下している(グミの実験)
2位	中等度以上の歯周病がある
3位	歯の数が少ない
死亡	
1位	かみ砕く力が低下している(グミの実験)
2位	歯の数が少ない
3位	自分自身が食べ物を噛めないと感じている

kenya's PLOFILE

- 昭和37年7月3日宮城県丸森町生まれ。寅年・蟹座・A型・180cm・70kg。家族は、妻と息子3人。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了(法学修士)、同法学研究科博士課程後期満期退学。
- (財)松下政経塾を経て、宮城県議会議員(3期)、衆議院議員(7期)。総務大臣政務官、厚生労働副大臣および復興副大臣、衆議院環境委員長、内閣総理大臣補佐官、復興大臣などを務める。
- 母校の中央大学商議員や保護司を務める。東北医科薬科大学講師、宮城大学講師などを歴任。



秋葉賢也事務所
www.akiba21.net

〒981-3121 仙台市泉区上谷刈4-17-16

Tel 022(375)4477

Fax 022(375)0057